

＜過去 1 週間の動き＞

USD/RUB: 75.670~77.850

過去 1 週間のロシア・ルーブル相場は、対ドルで、上昇の先行後、高止まり。31 日から 2 日にかけてのルーブル上昇は、80 を割り込むような急落からの調整的反発の色彩が濃く、ドル全面安の一環とも感じられた。また、2 日から 4 日にかけて原油価格が明確に水準を切り上げたにもかかわらず、ルーブルが高止まりにとどまった(上抜けできなかった)ことは、逆にルーブルの値動きの重さを物語っていたように感じられた。ルーブルの重石は、引き続きウクライナ東部を巡る軍事的緊張で、この間に限れば、北京オリンピック開会式/中ロ首脳会談(4 日)が控えていたことで、「ロシアが軍事行動を起こす可能性は低い」と認識されてはいたものの、2 週間余り先送りになるだけで、軍事的衝突の可能性が残っている事実は、ルーブルの値動きに引き続き重く押し掛かっていたように思われた。ドル全面安は、この間、アトランタ連銀ボスティック総裁(31 日)、フィラデルフィア連銀ハーカー総裁(1 日)、セントルイス連銀ブラード総裁(1 日)ら米連銀高官が、相次いで、3 月の 50b.p. 利上げや年内 4 回(×+25b.p.)を超える利上げに否定的な発言をしたこと、加えて、2 日発表された米 ADP の 1 月雇用統計が大幅に下振れたことなどを材料視した値動きと考えられた。逆に下振れが警戒された 4 日の米 1 月雇用統計が、予想外的大幅雇用増、賃金上昇を示したことは、週引けにかけての(対ルーブルを含む)ドル全面高につながった。2 日開催された OPEC+総会は、予想通り、日量 40 万バレルの小幅増産を決定したものの、市場の一部により大幅な増産への期待感があつたことで、その後の原油価格上抜けにつながったものと考えられた。

＜過去 1 週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
2/2	16:00	鉱工業生産(前年比)	12 月	+6.1%	+4.5%	+7.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう 1 週間の見通し＞

USD/RUB: 75.20~76.80

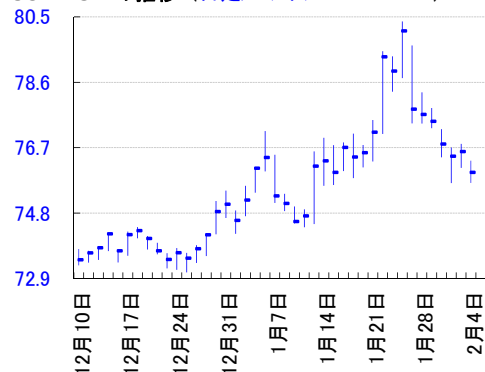
向こう 1 週間のロシア・ルーブル相場は、様子見気分の強い横ばいを予想。敢えて選ぶなら堅調気味の推移を見込む。東ウクライナ問題は、繰り返し述べてきたように、欧米による対ロ経済制裁という文脈でロシア資産押し下げ要因であると同時に、原油価格上昇を通じたルーブル押し上げ要因とも読める。軍事的衝突の回避を所与に、目先は、後者としての要素の方が強い期間が続くのではないかと。ひとつには、北京オリンピックが開幕したことで、プーチン大統領が習主席に気兼ねし、世界の注目をオリンピックから逸らすような行動を取らない可能性。また、週明け 7 日には、マクロン仏大統領がモスクワを訪問してプーチン大統領と会談する予定だし、シュルツ独首相もバイデン米大統領との会談を予定している。こうした外交努力がどんな形で実を結ぶか/結ばないかは現時点で予見できないものの、少なくとも「結果を待つ」イベントがある間は、金融市場も様子見する可能性が高いものと見込む。北京オリンピックの閉会式は 2 月 20 日で、奇しくもロシアとベラルーシの合同演習の最終日と重なり、その後のロシア軍の行動(それぞれの拠点に帰投するからウクライナ周辺に居座るか)が注目されるが、ウクライナに侵攻するとしたら、直近で、北京パラリンピック(3 月 4 日~13 日)が開催されるまでの 10 日余りが最も警戒されるのではないかと。9 日発表のロシア 12 月 CPI は、6 年ぶりの高水準への続伸が見込まれているものの、既に、物価続伸も、ロシア中銀大幅利上げ(2 月 11 日)も概ね織り込み済みの感が強く、強めの数字にルーブルが買い上げられるよりも、弱めの数字に大きく反落するような非対称な反応が見込まれる。

＜向こう 1 週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
2/7	13:00	外貨準備高(USD)	1 月		640.0bn	630.6bn
		国民福祉基金残高(USD)	1 月			182.6bn
2/9	16:00	小売売上高(前年比)	12 月		+3.5%	+3.1%
	16:00	失業率	12 月		4.3%	4.3%
	16:00	実質賃金(前年比)	12 月		+0.5%	+0.6%
	16:00	CPI(前年比)	1 月		+8.83%	+8.39%
2/9-2/11		財政収支(RUB/年初来)	1 月		+510.0bn	+514.8bn

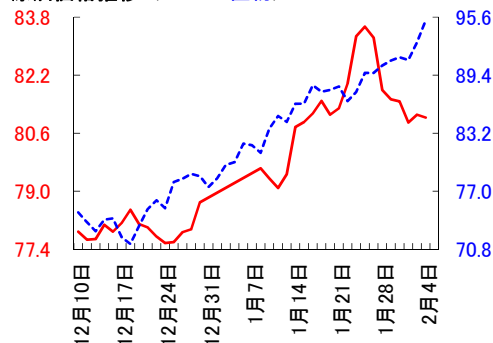
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUB の推移 (日足/ロンドン 7:00~17:00)

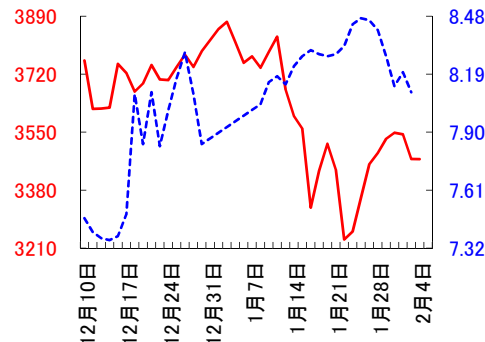


株ルーブル/バスケット推移 (ロシア中銀公示)

原油価格推移 (ブレント直物)



株式/金利相場の推移 (MOEX 指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1 週間物入札金利		8.50%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+4.3%
失業率	11 月	4.3%
消費者物価(前年比)	12 月	+8.39%
小売売上高(前年比)	11 月	+3.1%
鉱工業生産(前年比)	12 月	+6.1%
貿易収支(USD)	11 月	+21.1bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。